

カリキュラム

コースコード：21-132

中小企業大学校 直方校

タイトル	納期遅れを予防する工程管理の進め方				
サブタイトル	顧客のニーズに応えるリードタイム短縮の進め方				
研修のねらい	必要なモノを、必要な時に、必要な数量だけ、欲しいという顧客ニーズにより受注の多品種化と短納期化が進み、生産現場では生産計画の複雑化が生じています。本研修では、生産管理の全体像を押さえた上で、生産計画の立て方と工程管理の実践法を演習を交えて学びます。また、納期遅れが発生する要因の捉え方と対応策の考え方を踏まえ、自社の納期管理における実態の課題と今後の対応策の検討に取り組みます。				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生産管理（生産計画と生産統制）の全体像について理解できます。 ・生産スケジュールの立て方とその管理の仕方について理解できます。 ・納期管理の改善の仕方について理解できます。 				
日程	2021年12月14日（火）～12月16日（木）	日数	3日	時間数	21時間
対象者	管理者、新任管理者 ・工場長や製造部門の責任者・管理者の方 ・納期遅れに悩んでいる企業の方 ・短納期化に取り組む企業の方	定員	30名	受講料	32,000円
		会場	中小企業大学校直方校		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
12/14 (火)	9:10~9:30	開講式・オリエンテーション		株式会社アティックフェイス 代表取締役 顯谷 敏也
	9:30~12:30	生産計画とスケジューリング	中小製造業における生産管理活動の目的・全体像と、現場のリーダーの役割について学びます。 ・生産システムと生産管理 ・操業計画と負荷能力調整 ・生産計画のつくり方、実現方法 ・サプライチェーンマネジメントと納期管理	
	13:30~17:30			
12/15 (水)	9:00~12:30	在庫管理と工程管理のポイント	自社の顧客ニーズや生産形態に適した生産計画の策定方法と、的確な生産統制のポイントを学びます。 ・在庫保有のメリットとデメリット ・リードタイムと在庫管理の実際（演習） ・生産管理と効率管理 ・生産管理課題改善策の検討（ビデオを使った改善演習）	
	13:30~17:30			
12/16 (木)	9:00~12:30	自社の納期管理の改善検討（演習）	事例や演習を交えて納期遅れが発生する要因と対策の取り方を学び、自社の納期確保やリードタイム短縮に向けた改善策の検討に取り組みます。 ・納期遅れの要因と対策（5S、「流れ化」） ・多品種少量生産への対応 ・ボトルネック工程のコントロール ・自社の納期管理の改善策の検討（まとめ）	
	13:30~16:30			
	16:30~16:40	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
顯谷 敏也 (あらや としや) 株式会社アティックフェイス 代表取締役	関西大学大学院工学研究科を修了後、1986年シャープ（株）に入社。情報システムの構築、大型液晶テレビ工場の立ち上げ、サプライチェーン設計、工場の生産改善指導、人材育成等に従事。2012年に独立し、生産性改善オフィスAttic faith（現（株）アティックフェイス）を設立。製造業を中心に生産性改善、業務プロセス再構築などの支援に取り組んでいる。中小企業診断士、IE士（生産工学）、経営学修士（MBA）等。

備考

※全日とも、12:30～13:30は休憩時間となります。
 ※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。